

和泉短期大学 同窓会 ～人と人とのつながりを大切に 和泉とともに～

2021年8月発行

いずみ

Alumni
Association
IZUMI

第12号



これからも和泉をよろしく

学校法人 和泉短期大学
理事長 伊藤 忠彦

昨年度 2020 年度は、緊急事態宣言・第 1 回発令の直後でもあり、緊急事態の下での学事の体制を整える時間の必要もあり、新学期を休校の状態を迎えました。

しかし、6 月に入って、2020 年度の入学式を挙行し、本学始まって以来の新学期となりました。

今年度、2021 年度は、4 月 1 日、短期大学新入生 221 名、専攻科生 20 名を迎え、午前と午後の 2 回に分けて、分散入学式を挙行し、新学期を迎えることができました。新入生をお迎え出来たことは、もちろんのこと、更に、嬉しいことは、この様な困難な時にもかかわらず、今年の新入生の総数が、昨年度に比して、わずかですが、24 名（短大 221・専攻科 20）多くなったことです。

何よりも、この地域の保育・幼児教育・児童福祉の学びを目指し、和泉短期大学で学びたいと願う学生が、一人でも増えることが、この大学の使命に与っている、私たち教職員の喜びです。

同窓会の皆さんにも共感いただけることと思いますが、今、本学が直面している事態は、今後、そう容易には変わらないのでは、と思う方々も少なくないと思います。私も実はそう思っている者です。

2021 年 1 月 6 日（水）本学の教職員新年礼拝の説教に任じられ、聖書を開いて、目に留まった、聖書のみ言葉を心に刻み、家を出ました。「苦難をも誇りとします。私たちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。」（ローマの信徒への手紙 5:3-5）

「練達」（れんたつ）は希望を生み出す、の「練達」の意味は（熟練して、その道に通じること）。

私たちは、今、直面している苦難を耐え忍んで、その道に通じ、希望にいたるのだ、との教えです。

この度、同窓会からのご依頼で、「いずみ」に一筆書かせていただくにあたって、本学の卒業生だった、事務局の曾根真理子さんに、同窓会の活動について伺いました。本学の学事・ここに列举出来ないほど、沢山の協力・連携を、いただき、また事例を伺い、深く感謝する次第です。

私は、非常勤から言えば、本学の世田谷時代からの教員の一人だったと、密かに自負しています。

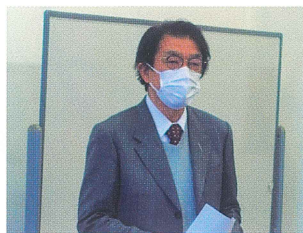
これまでの皆様の母校である、和泉短期大学へのご協力、ご支援に、心より感謝の念をもって、お礼申し上げます。ありがとうございます。

2021 年 5 月 20 日



2021年2月27日(土) 第11回通常総会を開催

和泉短期大学内にて通常総会が開催され、2020年度会計報告、2021年度活動計画・予算等議事は滞りなく進行し、承認されました。



会長挨拶

遠藤 陽子

(26期生・1992年3月卒業)

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会活動に対しましてご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により自粛が続く、不安を抱いておられる方もいらっしゃると思います。保育・福祉等の現場でも様々な配慮をしながらの毎日となり緊張の連続なのではないでしょうか。ご尽力されている事に対し敬意を表します。また、生活に影響を受けている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

同窓会活動も昨年度はコロナ禍において感染予防の対応と自粛規制等過去に経験した事がない別の視点で注意深く、また慎重に活動してまいりました。いずみ祭をはじめ、毎年恒例となっていた同窓会参加の行事も同じ形では進められない状況でありましたが、役員一人ひとりが発想を転換し「今、何が必要なのか?」を常に考え、短大と協力しながら少しずつ対応してきました。

活動の一つである『通常総会』は感染予防と時短に努め規模も縮小し開催することが出来ました。(2021年2月27日)伊藤理事長はじめ佐藤学長、教職員の皆様、そして父母会・後援会の役員の方にもご出席いただき、全ての議案が承認されました。(会計期間&役員の任期変更について、も含む)

先の見えない状態ではありますが、短大はじめ関係各所の方々、何より同窓生の皆様のご意見やお力をお借りしながら前向きに活動していきたいと思っています。

今後の活動については皆様の安全と健康を優先して判断していきますが、同窓生と同窓生、在校生と同窓生、同窓生と母校を『つなぐ』という役割は変わりません。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

まだまだコロナ禍で大変な時ですが、皆様どうぞご自愛ください。時々学生時代を思い出してくだされれば幸いです。

一日も早い収束を祈りつつ、皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。



同窓会いずみ主催『櫻井奈津子教授 2020年度末退任による最終講義』 「子どもの家庭福祉の専門職と連携」が開催されました。

櫻井先生からのメッセージ 卒業生の皆さんへ



1年以上にわたるコロナ禍の中で、新しいステージへと進むことになった皆さん、さまざまな活動を自粛しなければならない中での進路選択は大変だったことでしょうし、不安も大きなことと思います。コロナ以前の先輩たちですら、「現場でうまくやっていけるのかな」という不安を抱えていましたから、皆さんの心配の大きさは、楽天家の私の想像をはるかに超えるものなのでしょう。

そんな状況だからこそ、超おめでたく楽天家の私から、皆さんへのメッセージです。

まず、個人で頑張ったところでどうにもならないことを思い悩むのは辞めましょう。「なるようにしかならない!」肩の力を抜きましょうね。

それから、たとえどれほど優秀で、しっかり真面目に勉強をしてきたとしても、新型コロナウイルスがなかったとしても、そもそも、卒業後すぐのあなた達があるまま一人前と認められる状況ではないのです。たくさん失敗して、冷や汗をかいて、先輩から注意され、教わって、時には子ども・利用者さんから教えられて・・・を繰り返しながら、実践を通して学び、成長していくものなのです。失敗、迷い、不安、辞めたいと思うこと、そうしたことは、少し悪いことでもないし、恥ずかしいことでもありません。しかるべき相手に相談したり、意見を聞いたり、助言を受け入れたり、自分を振り返ったり、そういうことができないのが悪いことなのです。

初めて出逢った子ども・利用者さんに対して、「十分なことができなかった」「ドジばかりで申し訳なかった」ということがあったら、その失敗から学んだことを、次に出逢う子ども・利用者さんにお返ししてあげましょう。世の中には常に一定程度の「新人」がいます。新人時代の不出来を、経験・年数を重ねることで挽回していけば、世の中全体がうまく回る、というものです。

そうそう、笑うと免疫力がアップするそうですよ。素敵な笑顔、忘れずにね。

2020年12月26日



お詫びと ご報告

当初、2020年度総会時に開催予定でした、櫻井奈津子教授の最終講義は、新型コロナウイルスの終息時期が見通せない状況を踏まえ、皆さまの安全を第一に考え中止とさせていただきます。しかし、櫻井奈津子教授や和泉短期大学のご厚意により、2020年12月26日(土)同窓会いずみ主催『櫻井奈津子教授 2020年度末退任による最終講義 子どもの家庭福祉の専門職と連携』を開催することができ、1年生の通常授業に同窓会役員、事前に申し込みをされていた卒業生、教職員の方と参加させていただき運びになったことをご報告いたします。櫻井先生本当にありがとうございました。

ペンリレー 「同窓生は今」



第11号のペンリレーはいかがだったでしょうか。今回は2名の方にバトンをお渡しし、学生生活の思い出や近況をお伺いしました。思わぬところで繋がっている和泉生！ある日あなたにもバトンが届くかもしれません。その時は是非、笑顔と共に・・・バトンをつないでください。

松井芳弘さん 2004 年度卒業 (Eグループ 山内常博先生)



【学生生活の思い出】 私の入学時は男子学生3期生ということで、授業は基本的に男子ひとりという状況でありましたが、グループのメンバーや事務局、先生方の優しさに恵まれたことに今でも感謝の気持ちでいっぱいです。なかでも一番印象に残っていることは、2年生の時に委員長を務めた「いずみ祭」です。多くのメンバーに助けられ達成できたことですが、大きな変化としてクラーク・ホールでサウンドコンテストを行えるようにしたこと

です。それぞれのグループが限られた時間の中で創意工夫し披露するには、普段であれば上がることのできないチャペルのステージを！と願いました。その変革の時には課題や約束事があるものでしたが、和泉らしいサウンドを毎年響かせてくれていることに今でも嬉しく思っています。

【近況】 現在は卒業後から勤続15年となる町田市内の保育園に勤めています。和泉短大のスクールモットーでもある「愛と奉仕」の思いで、子どもたちに祈りと賛美を全力で実践しています。どんなマイナス状況にあってもプラスに変えてくださる神さまに信頼して、これからも子どもたちの成長を喜びとして歩んでいきたいと思っています。



林 和也さん 専攻科 2015 年度卒業 (Cグループ 櫻井奈津子先生 専攻科 佐藤美紀先生)



【学生生活の思い出】 和泉での思い出の1つは和泉祭。同じクラスの皆と衝突してしまうこともありましたが、協力して1つのことに取り組むことで、達成感を味わい共有することや仕事をしていく中で必要となるチームワークの重要性を楽しく学ぶことができました。2つ目は実習。とてもとても日誌には苦しめられましたが、日々新しい事を学び、経験できる事。子どもやお年寄りの方との関わりを通して徐々にその学びや経験が力になっていく事が楽しく、働き始めてからも良い経験であったと思います。

【近況】 現在は、実習でお世話になった施設で5年間特別養護老人ホームに務め、その後同じ法人内のグループホームの職員として働いています。グループホームでは9人と少ないご利用者が、アットホームな空間での日常

を過ごしています。介護というと、なかなか良いイメージを持っていない方も多いと思いますが、職員やご利用者共に明るく、笑顔になれる場面が多く、現在でも日々の勤務の中で学べる事が尽きずやりがいのある仕事だと感じています。



4号館 屋上テラスにて

2021年度 第12回通常総会(改選)のおしらせ

開催日時

2022年2月26日(土)
13:00 受付開始 14:15 終了予定

※新型コロナウイルス感染症の状況により時間を短縮することがございます。ご理解のご協力お願い致します。

場 所

和泉短期大学

申し込み
方法

出席をご希望される方は、同封の総会・研修会申込用紙にご記入の上、和泉短期大学事務局へ郵送・ファックスまたは短大ホームページよりお申し込みができます。

● 対 象

玉川保母専門学院
和泉短期大学
和泉(老人)福祉専門学校卒業生

● プログラム

13:00~13:15 受付
13:15~14:15 総会

❖ 同窓会ではこんな活動もしています ❖

同窓会では、皆さまからお預かりしている同窓会費を様々な形で、卒業生・在校生のために使わせていただいております。

入学祝いや卒業祝い品も同窓会いずみとしてお贈りしています。

同窓会奨学金なども学生への貴重な支援となっています。

結団式では、父母会・後援会の役員の方々と共にスポーツ飲料の差し入れと共にエールを送り、点火祭ではクッキーや飲み物の差し入れをするなど同窓会として多くの学校行事に参加させてもらっています。

現在はコロナ禍ということで、活動が制限されていますが、今後も同窓会として在校生の皆さんの学生生活がより有意義なものとなるようお手伝いが出来ればと考えています。また卒業生の皆さまには、出来るだけ母校和泉に足を運んでいただけるような企画も検討していきますので、今後の同窓会の活動にご注目ください。



お知らせ

いずみ祭開催の有無は和泉短期大学ホームページにてお知らせいたします。

詳細につきましてはホームページをご確認ください。

和泉短大の
Instagramも
見てね!



編*集*後*記

令和という新しい年号が始まり、2020年東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催されると明るい未来を思い描いていた矢先、新型コロナウイルス感染症「COVID-19」が突如として現れ、世界的に猛威を振るい、国内でも大きな動揺が走りました。こんな世の中になるとはだれが予測できたでしょうか。行事の休止や延期、施設全体の感染症対策、休業要請を求められる企業等、不安な日々がなお続いております。短大でも対面での授業を行うことが困難な日々が続きました。しかしコロナを契機に発展したこともあります。急速なオンラインの発達や生活様式の変化等、生活面でも仕事面でも見つけなおす良い契機になっているのではないのでしょうか。また、何気ない日常が当たり前でなく、日常が有り難い事象であったことに気づかされました。今日があることに感謝し、明るく豊かな持続可能な未来を創るために、新型コロナウイルス流行で経験したことを強みに、これから歩んでいきたいものです。

同窓会で掲げているテーマは「つながり」です。人との出会いが人生を豊かにする。和泉という同じ学び舎で、年度は違えど学んだこの「つながり」を大切に紡ぐことができるよう、今後も同窓会活動に邁進していききたいと思います。(副会長 川井昶彦)

❖❖❖❖❖ おねがい ❖❖❖❖❖

毎回多くの同窓会便りが宛先不明で戻ってきています。住所や氏名が変更された方は、ハガキ・FAX等で短大までおしらせください。また短大のホームページやこの欄の下にあるQRコードをスマートフォンで読み取ることで、インターネットからも変更手続きができます。

●編集・発行 同窓会 いずみ

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉 2-2-1
(和泉短期大学事務局内)

電話 042-754-1133 FAX 042-753-2087

発行責任者 会長 遠藤陽子



QRコード